



ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

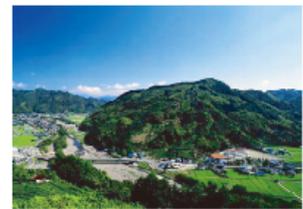
FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：早川 清人 副会長：伊藤 彰彦 幹事：松浦 正秋 副幹事：渡邊 芳隆

第1080回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 我等の生業・さくらさくら
- ソングリーダー 杉浦 聡君

■ 会長報告

早川 清人君

皆さん、こんにちは
年度末を迎え、皆さんにおかれましてはお忙しい毎日を送られていることと思います。



特に、4月1日を以て消費税増税が行われるとあって、公私共々慌ただしい日々なのではないでしょうか。このような時期は、多少の体調不良は我慢して仕事に勤しんでいってほしいものと推察致します。しかし、私ども事業家にとって身体は最も大事な資本です。くれぐれもご自愛の程お願い致します。

さて、今回も先週に引き続いて、古事記に記載された「倭建命（ヤマトタケルノミコト）」をテーマに話しをしたいと思っております。

倭建命（「日本武尊」とも称する）は、第12代景行天皇の第2皇子であり、当時天皇となるに最も近い立場にあったにも拘わらず、父景行天皇に疎まれ全国各地を転戦させられ、その途中で崩御した悲劇の英雄であると前回お話しさせて頂きました。

本日は、倭建命が天皇から疎まれる切っ掛けとなった事件のお話しです。

倭建命と云う名は、熊曾建（クマソタケル）兄弟を襲撃した際に、弟熊曾建がその武勇を褒め称え「建」の名を与えたものであり、それまでは「小碓命（ヲウスノミコト）」と称していました。

小碓命には、双子の兄「大碓命（オホウスノミコト）」がおりました。

あるとき、父景行天皇が、大碓命を呼び、三野（美濃）国の美女姉妹「兄比売（エヒメ）」「弟比売（オトヒメ）」を宮中に招くようにと命じ派遣しまし

た。しかし、大碓命はその娘たちの美しさに魅せられ自分のものとしてしまい、天皇には別の娘たちを献上しました。娘たちが偽物と気付いた天皇は、彼女たちと枕を交わすことはしなかったそうです。その後、顔を見せなくなった大碓命に業を煮やした天皇は、弟の小碓命に「おまえがよく言い聞かせ、教え諭してまいれ。」と命じました。しかし、それから5日経っても大碓命は姿を見せませんでした。そこで、天皇が小碓命に「どうしておまえの兄はまだ出てこないのか。諭したのか。」と尋ねると、小碓命は「ちゃんと言い聞かせました。」と答えました。天皇が「では、どのように言い聞かせたのだ。」と重ねて問うと、小碓命はそれに答えて「明け方に厠に行くところを待ち受けて捉え、掴み潰し、その手足をもぎ取って薦（コモ）に包んで捨てました。」と言いました。これを聞いた天皇は、小碓命のあまりに猛々しく荒々しい性格を恐れ、直ちに西方にいる熊曾建兄弟の討伐を命じ、天皇の下から遠ざけたとのことでした。

■ 幹事報告

松浦 正秋君

- ・第2620地区より
4月のロータリーレートのお知らせが届いております。 1ドル=102円です。
- ・第2620地区より
那覇西ロータリークラブ主催、サンゴ植え付けダイビング参加者募集のお知らせと親睦コンペのお知らせが届いております。
- ・公益財団法人米山梅吉記念館より
賛助会員募集のお知らせと春季例祭のお知らせが届いております。
- ・藤枝市国際友好協会より
会報が届いております。
- ・静岡県文化・観光部長より
「富士の国」づくり推進会議への参画についてのご案内が届いております。

◎ 表彰

☆ポール・ハリス・フェロー表彰

渡邊 博文君



松浦 正秋君



☆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー表彰

伊藤 彰彦君
樽井 勉君



■ 出席報告

寺田 章君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
39/46 84.78%	40/46 86.96%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○稲葉君 ○植田君 ○内山君 ○漆畑君
○富澤静君 ○森竹君 川口君

(2)メイクアップ者

富澤 静雄君(榛南) 森竹 正晃君(榛南・焼津南)
望月 誠君(焼津南) 山田 壽久君(焼津南)

■ ビジター

松葉 隆夫君(藤枝)

■ スマイルBOX

寺田 章君

- 誕生プレゼントありがとうございました。
佐野 裕基君
- 妻の誕生プレゼントありがとうございました。
樽井 勉君

- 結婚記念日のお祝いありがとうございました。

藪崎 幸一君

スマイル累計額 424,000円

■ 会員卓話

『PETS報告』

伊藤 彰彦君



さる3月16日(日)オークラアクティビティホテル浜松におきまして、国際RC第2620地区の会長エレクト研修セミナー(PET)が開催されました。

新人の方は何のことやらわからないと思いますので、簡単に説明させていただきます。

国際RCの会長の次年度活動方針を受けて、ガバナーエレクト研修が行われ、地区ガバナーの方針の説明とこれから始まる新年度の各クラブの基本的な活動を考えるための研修会と考えてください。

今回の国際RC会長は台湾人でゲイリーC.K.ホアンさんという方です。そしてテーマは「ロータリーに輝きを」です。テーマの意味はロータリーは一世紀以上にわたり奉仕を目的に世界中で活躍してきました。これはロータリーという組織によって友情をはぐくみ、地域に貢献してきたから続いているのだということです。2014-15年度においてもロータリー奉仕を人々と分かち合い、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めるために「ロータリーメンバーひとりひとりが輝きましょう」ということです。

これを受けて、2620地区のガバナー岡本一八さんは地区活動の基本方針を7つ掲げています。一つ目は「多様なクラブ運営を」ということで、既存の活動や慣習にとらわれずに、何でもやってみようということです。二つ目は「会員増強」です。奉仕活動をするためにはクラブにそれなりの財源がなければどんな良いアイデアがあっても実行に移せません。ですから、クラブの財政強化のために会員増強を進めてほし

いということです。レディース会員の増加を盛んに薦めていました。三つ目は「寄付増強を目指そう」ということです。お金は使うことによってより大きくなって戻ってくるということのようです。四つ目は「奉仕目的の徹底」です。職業奉仕の基本はしっかりと守ることだということです。五つ目は「仲間づくりが成功への第一歩」ということで、会員同士の交流や、他のクラブのメンバーとの積極的な交流を図ってほしい。とされています。

六つ目は「リーダーとしての考え方」として慣習にとらわれず情熱を持って取り組もうということです。七つ目が「永続を目指そう」ということです。何事も永続が大事ですから時代に合わせ、多様性に富んだクラブを作りましょう。ということでした。

4月に入りますと6日の日曜日に地区研修・協議会があり、ここでさらに各委員会ごとの活動のとり組について、ガバナーの活動方針に合わせた考え方が示されますので、地区教に参加される方は新年度の活動について、ガバナーの意向を知ったうえで、当クラブの活動方針を考えてほしいと思います。

ただ、今度の岡本ガバナーは、基本はクラブの自主性を重んじます。とのことで、あまり地区が積極的に指示しないとのことでした。

殿村 元二郎君



2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の拡散、それに続く風評被害により原木乾椎茸の生産・消費は多大な被害を受けてきました。しかし、乾椎茸消費の減少要因を原発事故のみに求めていたのでは、現状を打開し再び成長へと転換することは出来ません。この負の遺産を克服し次の世には再び成長産業になる為、現状を正確に認識し、正しい道を模索し、成長の時代へと変化する様、願望いたします。

私が本職の椎茸以外で関係している2~3の企業では、過去10年間、売り上げの伸びは多くはありませんでしたが、合理化に努力し損益は相応の成果を上げてきました。しかし、昨年(2013年)夏ごろから損益の悪化が見え始め、年末が近づくに従ってそれが顕著になってきました。原因を調べてみますと若干の売り上げ低下は見られるものの、輸入の原材料品の値上がり最大の要因であるようです。今後、輸入原料の値上がりはあっても値下がりはないと予想され、今までのデフレ下でのビジネススタイルを早急に変更しなければと痛感している次第です。

この様な事象は10年単位の変化と考えます。消費財業界にあっては、1990年前後からの中国の安い労働力を背景とした低価格路線で、日本及び日本人に経済的な利益も不利益ももたらしてきました。しかし、中国が世界第2の経済力と軍事力を保持するようになり「偉大な中国」を強調している現在、我々と中国との経済的な結びつきも変化を強いられるでしょう。この中国の変化が消費財や農産物のコストアップを招き、小売業界や消費者に過去10年とは異なった行動を取ることを要求するでしょう。今、我々の身の回りを見ていると大きな変化は無いように見えますが、時代は変化を催促しているのではないのでしょうか。

我国における原木乾椎茸生産の最盛期は1985年頃であります。世界の総生産量推定約2万トンの50%は日本で生産され、その国産椎茸の30~40%は香港、東南アジア、米国等へ輸出されていきました。30年後の今日、世界の総生産量は10万トンに増加したにもかかわらず、日本産は約4千トンとシェアは4%に激減いたしました。日本国内での乾椎茸全消費量約1万トンの内日本産乾椎茸4千トンでさえ消化不良が現状です。世界は30年間で5倍に消費を増やしているにもかかわらず我国の乾椎茸産業は急激な円高、産業構造の変化等により衰退してきました。20年間挑戦する心を失い内に籠ってしまっている間に、日本以外の乾椎茸消費国は所得も増加し、物価も上昇しました。今後、乾椎茸産業を復活させるには生産性を上げ、コストの低減に努め、再度海外にマーケットを拓けるしか無いと考えます。

例会プログラム

緑茶も価格下落と消費量の減少に苦しんでいます。世界の緑茶の消費量は日本緑茶の消費量の10倍とされています。生産性を向上させ、コストを2分の1以下に落とすことにより海外に大きなマーケットが開けてくると考え、懸命な努力を続けています。

我々乾椎茸産業界も同様の努力によって海外マーケットにおけるシェア拡大が望めるのではないのでしょうか。現在の円安傾向、アジアの中低開発諸国の人々の所得向上、中国のコスト上昇を追い風として、失われたこの20年を取り戻しましょう。日本産原木乾椎茸の消費を拡大させ、元気のある産業に復活させるには、挑戦する心と知恵と汗しかありません。

例会日	クラブ行事	摘要
4/5(土) 第1081回	お花見例会	4/4 振替え 4/6 地区協議会
4/11(金) 第1082回	外部卓話	4 月度理事会
4/18(金) 第1083回	会員卓話	私の職業 お役立ち情報
4/25(金) 第1084回	会員卓話	私の職業 お役立ち情報

■ 今週の一言

松浦 聡君

【私の欲しいもの】

私の欲しいもの…「きれいなおねえちゃん」は内藤さんに言われてしまったので(笑)自分の家族のことを少しお話し致します。

妻が約1名います。新しい奥さんが欲しいという話ではありません。口が裂けてもそんなこと言えません(笑) 子供は3人います。女の子ばかりで高1、中2、小4です。いまさら男の子が欲しいという話でもありません(笑)

子供たちのことですが、最近全く言うこと聞きません。年ごろと言えばそれまでですが、やれ「くそじい」だの、生意気なことばかり言います。三女に至っては私が「会合に行ってくる…」という、「キャバクラ行くんだね」なんて言います。つまりところ舐められているんですね。私の欲しいものですが、【父親としての威厳】です。目に見えないそんなオーラを身にまとって家族をまとめていきたいなあ…と最近つくづく感じています。と、いうことでロータリークラブの例会で多くのことを学び、良きロータリアン、良き父親になりたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

(担当/富澤賢君)